



[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース 2019年](#)

プレスリリース 2019年

プレスリリースを掲載しています。発表日の午前11時にアップしますが、諸事情により若干の遅れがある場合はご了承ください。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

2019年

6月28日

役員人事について

3月29日

役員人事について

3月19日

代表取締役人事について

3月11日

熊本城における、崩落前の石垣石材位置を特定する画像処理技術の実証実験を完了

バックナンバー

| 2019年 | 2018年 | 2017年 | 2016年 | 2015年 | 2014年 | 2013年 |
| 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 |

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[サポート情報](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [役員人事について](#)

PRESS RELEASE

2019年6月28日

株式会社富士通アドバンストエンジニアリング

役員人事について

本日開催された定時株主総会において、下記の役員人事が決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 取締役【重任】

代表取締役社長

平山 秀明

取締役常務

志渡澤 和典

取締役

瀬戸口 信

取締役

古田 信二

取締役

石原 和典

取締役
田上 正史

取締役
後藤 彰一

取締役
渡邊 修

2. 監査役

監査役
磯部 武司
(富士通株式会社 執行役員常務)

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[サポート情報](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

富士通アドバンストエンジニアリング

＞ 社長挨拶

＞ 企業情報

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ トピックス

＞ ソリューション&サービス

＞ 製品情報

＞ 新たなイノベーションへのアプローチ

＞ サポート情報

＞ 製品カタログダウンロード

PRESS RELEASE

2019年3月29日

株式会社富士通アドバンストエンジニアリング

役員人事について

本日開催された臨時株主総会において、下記の役員人事が決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

() カッコ内は現職

1. 新任（4月1日付予定）

代表取締役社長	平山 秀明	（富士通株式会社 エンタープライズビジネスグループ長補佐）
---------	-------	----------------------------------

2. 退任（3月31日付予定）

（代表取締役社長）	林 恒雄	※4月1日付にて富士通株式会社 理事 に就任予定
（常務取締役）	小泉 良紀	
（取締役（非常勤））	小関 雄一	
（取締役（非常勤））	東 純一	
（顧問）	横山 謙	

これにより、2019年4月1日以降の役員は以下の通りとなります。

代表取締役社長	平山 秀明
取締役常務	志渡澤 和典
取締役	瀬戸口 信
取締役	古田 信二
取締役	石原 和典
取締役	田上 正史
取締役	後藤 彰一
取締役	渡邊 修
監査役	磯部 武司

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

富士通アドバンストエンジニアリング

[社長挨拶](#)[企業情報](#)[事業内容](#)[プレスリリース](#)[トピックス](#)[ソリューション&サービス](#)[製品情報](#)[新たなイノベーションへのアプローチ](#)[サポート情報](#)[製品カタログダウンロード](#)

PRESS RELEASE

2019年3月19日

株式会社富士通アドバンストエンジニアリング

代表取締役人事について

今般、下記の代表取締役人事を内定しましたので、お知らせいたします。来る3月29日開催予定の臨時株主総会を経て正式決定される予定です。

記

1. 代表取締役（2019年4月1日付予定）

（）カッコ内は現職

（1）新任

代表取締役社長 平山 秀明

（富士通株式会社 エンタープライズビジネスグループ長補佐）

（2）退任

（代表取締役社長）林 恒雄

※4月1日付にて富士通株式会社 社会インフラビジネスグループ 副グループ長に就任予定

以上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

富士通アドバンスドエンジニアリング

＞ 社長挨拶

＞ 企業情報

＞ 事業内容

▼ プレスリリース

＞ トピックス

＞ ソリューション＆サービス

＞ 製品情報

＞ 新たなイノベーションへのアプローチ

＞ サポート情報

＞ 製品カタログダウンロード

PRESS RELEASE

[実証実験]

2019年3月11日

富士通株式会社

株式会社富士通アドバンスドエンジニアリング

熊本城における、崩落前の石垣石材位置を特定する
画像処理技術の実証実験を完了

～石材位置の特定作業に要する時間を大幅に短縮～

富士通株式会社（注1、以下 富士通）と株式会社富士通アドバンスドエンジニアリング（注2、以下、富士通アドバンスドエンジニアリング）は、2016年4月に発生した熊本地震により崩落した熊本城飯田丸五階櫓（注3）における、画像処理技術を用いた石垣石材の崩落前の位置を特定する実証実験を2018年11月から約1か月の間実施し、80%以上の精度ならびに作業時間を大幅に短縮できることを確認しました。

本実証実験では、大量画像の中から指定した画像に部分的にでも一致する画像を高速に検索する高速部分画像検索技術（注4）、ならびにその検索の精度を高める画像最適化技術を組み合わせた石材位置特定システムを開発し、崩落した石材の画像と崩落前の石垣画像とをマッチングさせ、精度の向上ならびに検索時間の短縮を試みました。その結果、崩落前の石垣における石材の正確な位置を80%以上の高い精度で特定し、かつ作業時間を大幅に短縮できることを確認しました。

今後、本格化する熊本城復旧の効率化支援に向けて本技術の精度をさらに高め、2019年度中の実用化を目指します。



写真. 崩落後の熊本城飯田丸五階櫓
（熊本城総合事務所提供）

背景

2016年4月に発生した熊本地震で被害を受けた熊本城は、国の特別史跡に指定されているため、被害前の姿を保つことでその文化財的価値を保護する必要があり、現在復旧作業が進んでいます。2018年3月に制定された熊本城復旧基本計画によると、熊本城の完全な修復には約20年を要

するとされています。中でも、石垣は最も被害が大きく約3万個の石材が崩落しており、石垣の修復にあたっては、従来、図面化した崩落石材と崩落前に撮影された石垣の画像を専門家が目視で比較することで、崩落した石材の位置特定を行っているため膨大な時間を要していることが課題でした。

上記の課題を踏まえ、富士通と富士通アドバンスドエンジニアリングは、熊本城復旧現場の作業時間短縮のため、熊本市 経済観光局 熊本城調査研究センター（注5）が保有する崩落前の石垣画像と崩落後に撮影した石材画像を活用し、石材の崩落前の正確な位置を把握可能な石材位置特定システムを開発し、その実証実験を行いました。

実証実験の概要

1. 期間

2018年11月5日（月曜日）～ 2018年12月14日（金曜日）

2. 場所

熊本城飯田丸五階櫓石垣の崩落面2面

3. 内容

本実証実験は、富士通の推進のもと、株式会社富士通研究所（注6、以下 富士通研究所）が開発した高速部分画像検索技術、および富士通アドバンスドエンジニアリングが富士通研究所と共同開発した画像最適化技術をベースに開発した石材位置特定システムを活用し、実際に崩落があった熊本城飯田丸五階櫓の石垣にて、既に熊本市が特定された123個の石材を対象に実施しました。

画像から石材の部分のみの切り出しや、石材や石垣の表面の明るさなどの特徴を際立たせる画像最適化技術を適用することで検索の精度を高め、その後、一つの石材全体もしくは部分的に一致する画像を抽出する高速部分画像検索技術によって、崩落後の石材が崩落前の石垣のどの位置のものか、より類似度の高い画像を特定する一連の流れを繰り返し行い、精度の向上および検索時間の短縮に取り組みました。

その結果、最終的に、1日で101個の石材の正確な位置を特定することができ、82.1%（101/123個）と高い精度を得ることができたほか、その作業時間も大幅に削減できることが確認できました。

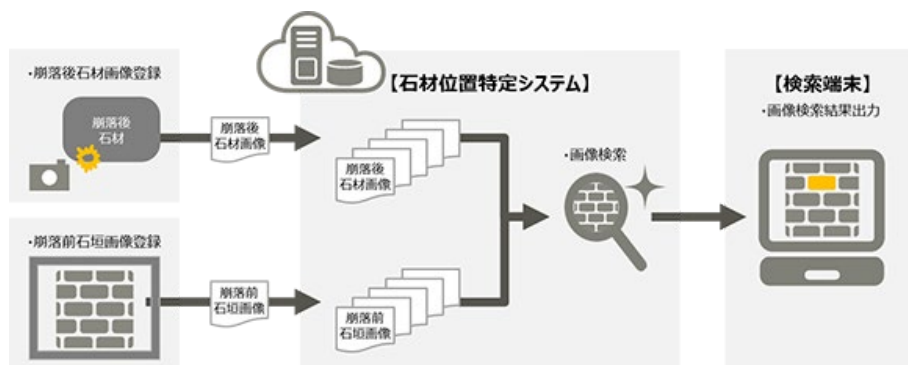


図. 実証実験のイメージ

4. 今後の展開

富士通と富士通アドバンスドエンジニアリングは、今後本格化する熊本城復旧作業の効率化支援に向けて本技術の精度をさらに高めていくとともに、他の文化財復旧支援への適用を進め、文化財復旧支援ソリューションとして2019年度中の商品化を目指していきます。





[ページの先頭へ](#)

コメント

熊本市 経済観光局 熊本城調査研究センター 副所長 網田 龍生様

熊本市は、かねてより崩落石材の石垣位置特定に取り組んでいましたが、今回の実証実験で確認できた特定スピードと80%を超える精度には驚きました。このような画像処理技術がさらに進化し、熊本城の早期復旧に繋がることを期待しています。

関連Webサイト

- [大量画像から目的の画像を瞬時に検索する技術を開発（2016年2月2日プレスリリース）](#) 
- [White Paper 高速部分画像検索キット（FPGA アクセラレーション）](#) 
- [熊本城復旧基本方針](#) 
- [【公式】熊本城 - 熊本市観光ガイド 場内ガイド 飯田丸ゾーン](#) 

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

注釈

注1：富士通株式会社

本社 東京都港区、代表取締役社長 田中 達也

注2：株式会社富士通アドバンストエンジニアリング

本社 東京都新宿区、代表取締役社長 林 恒雄

注3：熊本城飯田丸五階櫓

飯田丸は熊本城内の区画の一部の名称であり、その区画に建てられた五階建ての建造物を示す。

注4：高速部分画像検索技術

本実証実験では、富士通のPCサーバ「FUJITSU Server PRIMERGY RX2540 M4」において、本技術をベースとしたオプション「高速部分画像検索キット」を搭載して活用。

注5：熊本市 経済観光局 熊本城調査研究センター

特別史跡熊本城跡の価値を明らかにし、次世代へと継承していくために、保存・整備の資料や文献・絵図を集積し調査、研究を行うとともに、熊本城への理解を深めていただけるよう、調査研究成果について広く情報発信をする組織。


注6：株式会社富士通研究所

本社 神奈川県川崎市、代表取締役社長 古田 英範

以上

報道関係者お問い合わせ

株式会社富士通アドバンストエンジニアリング
コミュニケーション推進室

 電話: 03-5324-1600（直通）

 fae-promotion@cs.jp.fujitsu.com

本件に関するお問い合わせ

富士通コンタクトライン（総合窓口）

 電話: 0120-933-200

受付時間: 9時00分～17時30分（土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く）

[ページの先頭へ](#) 